



たんぽぽぐみだより

尚徳福祉会 おぐら保育園

2020年
6月発行

気温がぐんっと上昇し暑い日が続いています。また、雨の多くなるなかで子どもたちは暑さや気候に負けることなくたくさん体を動かし園庭で走り回り楽しんでいます。これからでて来る虫や植物に触れ、季節を感じ楽しみたいと思っています。

新型コロナウイルスによる登園の自粛にご協力ありがとうございました。

今後も、行事や活動の変更などあると思いますが出来る限りのなかで、子どもたちとともに楽しんで過ごしていきたいと思っています。



～園外散歩～

5月15日に園外散歩に行ってきました。コロナウイルスの影響で久しぶりに会うお友達に大喜びの子どもたち。天気の良い中散歩をして、園庭でお弁当を食べました。行事は縮小してしまいましたが、子どもたちは「楽しかった」「外で食べるの最高だよね～」などと言い楽しんでくれたようです。

～野菜を植えたよ～

コロナウイルスの影響で、各クラスでの苗植えはできませんでしたが、保育者が野菜を植えました。園庭に自由帳とクレヨンをもって観察し、絵を描き、観察を楽しみました。今年、きゅうり・パプリカ・オクラ・人参・さつまいもの5種類です。

～☆お箸☆おうちでやってみよう☆～

保育園では「お箸で食べる～」と子どもたちが箸に興味を示しているの、ぜひ、お家でお箸を試してみるといいかもしれません!!!!!!

①上の箸の持ち方の練習。

鉛筆を持つように、人さし指と中指と親指で持ちます。

②上の箸を上下に動かす。

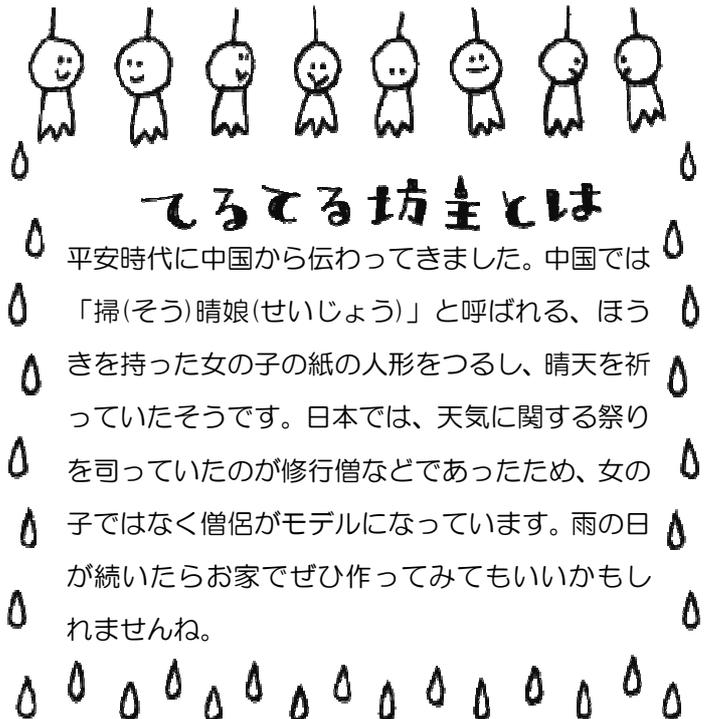
人さし指と中指を少し曲げ、数字の1を書くように箸先を上下させます。

③下の箸の持ち方を練習する。

親指と人さし指の付け根の所で箸を挟み、薬指の爪の横のところにあてて固定します。

④上の箸と下の箸2本のお箸の持ち方を練習。

下の箸を固定し、上の箸を動かす練習をします。



てるてる坊主とは

平安時代に中国から伝わってきました。中国では「掃(そう)晴娘(せいじょう)」と呼ばれる、ほうきを持った女の子の紙の人形をつるし、晴天を祈っていたそうです。日本では、天気に関する祭りを司っていたのが修行僧などであったため、女の子ではなく僧侶がモデルになっています。雨の日が続いたらお家でぜひ作ってみてもいいかもしれませんね。